

ZEH事業計画・BELS表示割合 計画及び実績

◆普及目標

◆普及目標

		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
新築住宅	ZEHの受託率	25%					75%
	その他	75%					25%
既存改修	ZEHの受託率	0%					25%
	その他	100%					75%
BELSの表示割合		25%					100%

◆ZEHの周知・普及に向けた具体策

国のZEH基準や弊社のZEH基準を公表しZEH化による様々なメリット（光熱費の低減以外に、災害時のエネルギー自立、快適性・健康性の向上、開放的な間取り等）を周知する。具体的にはHPや情報誌への掲載、見学会の開催によりエンドユーザーに対して分かりやすく説明をする。より広く普及を目指すためにコストを抑えたモデルプランを提案すると共に、標準仕様を定め弊社ゼロエネルギー住宅のブランド化を図る。

◆ZEHのコストダウンに向けた具体策

断熱仕様や設備等の一定の仕様を標準化します。標準化された仕様で設計施工を一貫して行うことでコストダウンを図ります。高断熱による外皮性能の向上・高効率設備の導入+太陽光発電等による創エネのバランスと地域の気候特性も踏まえた設計により高性能と低コスト化を図ります。

◆その他の取り組みなど

太陽光発電による創エネだけに頼るのではなくパッシブデザインを取り入れた設計で、より快適で、より心地いい住まいを提案し単なるエネルギー消費量がゼロという住宅とは一線を画する住まいを提案します。